

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

スタッフ CL 入江、SL 上戸、大川、矢古宇、中塚、湊、仲島、服部、千賀、松本、大石、井谷

受講生 竹内、山崎、黒岩、後藤、一般受講生 9 名 計 スタッフ12 名、受講生13 名(4 班集体)

2. 山域/ルート

裏六甲 蓬萊峽

3. 交通手段

電車

4. 行動記録

<入山日 2022 年 4 月 9 日>

先発隊スタッフ 10 名 8:27 阪急バス→8:50 蓬萊峽 小屏風 3 ルート、大屏風 2 ルート ロープ設置

後発隊スタッフ 2 名+受講生 9:07 阪急バス→9:30 蓬萊峽

9:30 装備装着、オリエンテーション後、各班で岩場へ移動

小屏風はトップロープのみ、大屏風はトップロープと懸垂下降 午前と午後で班ごとに岩場を移動

15:00 片付け開始、反省会 15:30 解散

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

大屏風で予定していた 2 ルートのうち 1 ルートはすでに使用していたが、すぐ左隣のルートにロープを設置できた。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

大屏風にて受講生がトップロープで登り、その後懸垂下降を続けて行うために、終了点で懸垂下降のシステムチェックのために待機していたスタッフ A が、ダブルロープの半分を地面に投げた。その際にロープの末端にカラビナをつけたまま投げ、カラビナがスタッフ B のヘルメットに当たった。B に怪我はなし。

→ロープダウンを行う際はロープの末端にカラビナをつけない。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

今回の 2022RC 教室実技③も天候にめぐまれた。受講生 1 名欠席の 13 名が参加。今回は大屏風と小屏風に 2 班づつに分れ、午前と午後で岩場を入れ替えて実施した。4 班で 5 ルート設置し空いたところを登ってもらうように移動してもらい、全員が 5 ルート登ることができた。また小屏風には受講生にとっては難易度が高いルートも設置したので苦戦していたが、全員時間をかけながらも完登できており、クライミングの楽しさを味わってもらえたと思う。クライミングで登ったルートを懸垂下降するのは今回が初めてであったが、比較的スムーズに全員が行っていた。県外や他会からも数名参加していたが、とても充実していた、懸垂下降を体験でき感動した、細かなシステム操作方法など教えてもらえて良かったなどの感想が受講生からあった。RC 教室を通して 2 名の入会に繋がった。



報告者氏名 入江 2022 年 5 月 18 日